

「眼瞼手術による術前後の形態変化を評価する」に対する ご協力をお願い

研究責任者 酒井成貴
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 形成外科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、仮名加工情報を利用し患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2007 年 4 月以降およびデータ収集が終了する 2026 年まで、眼瞼手術のため通院し、手術を受けた方が対象となります。

なお、手術を受けられていない方は対象外です。

2 研究課題名

承認番号 20231167

研究課題名 眼瞼手術による術前後の形態変化を評価する後ろ向き研究

3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学

研究責任者

(職位) 講師 (氏名) 酒井成貴

4 本研究の目的、方法

形成外科において最も関係するのは、皮膚組織の創傷治癒・上皮化・瘢痕と形態に対するアプローチであり、特に可動性のある眼瞼においては、その定量的な評価法を検討することは、今後の術式決定や治療効果における比較検討を行っていく上で重要です。

5 協力をお願いする内容

眼瞼周囲の疾患にはさまざまな手術方法があり、過去のデータを収集することが重要となります。

過去に取得したカルテデータをもとに部位や種類による分類を行い、術後の創部および形態に関する評価を行うことが本研究の主旨です。術後 1 から 6 か月、または最終受診日において、通常診療において得た創部の臨床画像および患者本人の有害事象の訴えをもとにしたデータを使用し、形成外科専門医の評価を行います。評価したデータは学会・論文で発表することにより医学の進歩に貢献いたします。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2033 年 11 月 30 日

7 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療記録のデータ収集・発表の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

所属 慶應義塾大学医学部 職名 講師
氏名 酒井 成貴
連絡先電話番号 03-5363-3814

以上